亀中だより

No.10　令和7年6月6日　文責　岡田

For The Students !

子どもの幸福度ランキング

5月14日、国連児童基金（ユニセフ）の研究機関、イノチェンティ研究所から、経済協力開発機構（OECD）加盟国などを対象にした「子どもの幸福度」ランキングが発表されました。さて日本の順位は何位だったと思いますか。日本は36カ国中14位と前回の20位から順位を上げる結果となりました。ちなみに上位はオランダやデンマークなど欧州諸国が独占したそうです。（アメリカ、オーストラリアなどはデータ不足のため、順位付けできなかったようです）

このランキングは、2022年のデータによってつくられたもので、「精神的幸福度」「身体的健康」「スキル（学力と社会技能）」の3分野を総合的に評価しています。日本は「身体的健康」で20年発表の前回ランキングと同じ1位。「精神的幸福度」は32位（前回37位）、「スキル（学力と社会技能）」は12位（同27位）なのだとか。この数字をどう見るかは様々ですが、公衆衛生の発達などによる身体的健康がすぐれていることはうれしいものの、やはり「精神的幸福度」に順位が低いことは気になるところ。幸福というのは抽象的かつ相対的な概念ですし、社会や文化によって幸福のあり方や考え方、その感じ方は人それぞれともいえます。幸せを測ることはとても難しいことですが、精神的に幸せだと感じることのできる社会にしていかなくてはいけませんね。

ちなみに3月20日の「国際幸福デー」に、オックスフォード大学のウェルビーイング研究所が発表した世界幸福度報告では、日本の幸福度は世界55位だったそうです。

熱中症にご注意ください！！

今年も夏が近づいてきました。全国では5月の半ばから夏日、真夏日の情報が聞こえてきて、熱中症で搬送されるケースも出てきています。生徒の多くが参加する中体連の鈴亀地区大会までも一か月を切りました。練習にも熱が入る頃ですが、心と体は冷静に保っておいてほしいものです。

学校では、気象庁等から発せられるアラートに加え、活動場所での熱中症指数を測定し、実測値による対応を行っています。原則としては活動場所の測定値をもとに活動の中止や中断もあり得ます。また、これは一つの目安であり、一人ひとりの体調等も考慮していかなくてはなりません。適切な健康状態の把握に努めていきますので、必要十分な水分をご用意いただき、前夜や朝の体調に不安があるときは、あらかじめ学校までご連絡ください。

雷や突然の雨に対して

熱中症ばかりでなく、急な天候の変化などにより、落雷や大雨による危険が予測されるケースもあります。こうした場合は、あらかじめお伝えしている下校時間をずらすなどの対応を取りますので、ご理解ください。

雷鳴が聞こえた場合は、屋外での活動や生徒の下校は原則としてストップします。最後の雷鳴から20分を経過するまで待機したうえで、活動の再開、下校を行います。

しかし、これですべての安全が確保できるわけではありません。下校を開始した後に再度、雷鳴が鳴ったり、強い雨が降り出すなどのこともあり得ます。生徒のみなさんは、下校時でも一時的な雨宿りをするなど、自らからだ、命を守る行動を取りましょう。必要に応じて、お車での迎えを行っていただくなど、ご協力もお願いします。